

2024
(令和6年)

5

No.1183

IIDA CITY
広報

いいだ



特集

考えよう！ ゼロカーボンシティへの取り組み

満開のモモの花

平均気温の上昇は農作物にも影響を与えています。温室効果ガスの排出を抑えるために、何ができるか考えてみましょう。

考えよう！ ゼロカーボンシティへの取り組み

2023年7月、記録的な猛暑が世界各地で発生し、国連のグテーレス事務総長が「地球温暖化の時代は終わり、地球沸騰化（global boiling）の時代が来た」と述べるほど、地球規模での気温上昇は人類の生存を脅かすものになりつつあります。

飯田市でも「今年の夏は暑かったね」「この冬は雪があんまり降らなんだね」という会話もよく耳にします。実際に飯田の気象観測所において観測された2023年の平均気温は14.1度となり、過去最高を記録しました。気温上昇の原因として、二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出があげられます。美しい里山の景色、豊富な果樹や野菜など飯田市の豊かな資源を守り、将来にわたって持続可能な地域としていくために、脱炭素化への取り組みを一緒に考えてみましょう。

あなたは何問正解できる？ クイズに挑戦してみよう！

脱炭素化に向けた取り組みを皆さんはどれだけ知っていますか？クイズの答えをマスにひらがなで書いてみましょう。A～Dの下線を引いた言葉をつなぎ合わせて現れたプレゼント応募ワードを送っていただいた方から抽選で、**15名様に「2050年いいだゼロカーボンシティトートバック」をプレゼント**します。応募方法とクイズの答えは20ページをご覧ください。



Q1

石油、石炭などの有限な化石エネルギーとは違い、太陽光、水力、バイオマスなど地球環境に対して負荷が少なく、資源を繰り返し利用できるエネルギーのことを何と呼ぶか？

補足 市では、太陽光発電や木質バイオマス利用機器などの導入に対し、補助制度を設けています。



メガソーラーいいだ

A1

エネルギー

Q2

バッテリーを搭載し、蓄えた電気を使ってモーターを回して走る自動車を何と呼ぶか？

補足 電気で走るため、走行時にCO2を排出しません。「蓄電池」として活用することもでき、災害時などに非常用電源として活用できます。



A2

自動車

Q3

環境の保全および創造に関する政策を総合的かつ計画的に推進するために、飯田市が策定した計画を何と呼ぶか？

補足 第5次改訂版には、「場面別こんなことしてみませんか事例集」として、暮らしの中で取り組んでいただきたい事例を提案しています。市ウェブサイト(ID:80334)をご覧ください。

A3

21'いいだ プラン

Q4

2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロを目指すことを目指し、市民（市議会）、事業者（商工会議所）、行政（飯田市）の3者共同で行った宣言は？



2050年いいだ

A4

宣言

Q5

2015年に開催された国連サミットにおいて採択された、SDGsとも略される持続可能な開発のための17の国際目標は？



A5

サステナブル・デベロップメント・

Q6

国が進める省エネルギー住宅の基準（ネット・ゼロ・エネルギーハウス）を参考に、飯田の気候風土を生かし、地域産材を活用し、地元職人がつくる、夏涼しくて冬あたたかい、快適で健康な低炭素省エネ住宅のことを何と呼ぶか。

補足 建築には飯田市の補助制度が利用できます。詳細は市ウェブサイト（ID 79771）をご覧ください。

A6

飯田版

Q7

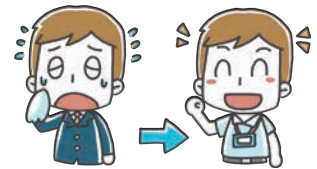
「環境に配慮する」生活から「環境を優先する」生活へ段階を発展させながら、新たな価値観や文化の創造へ高めていくという理想を掲げた、飯田市の目指す都市像は何か？

A7

都市

Q8

主に夏季にネクタイや上着を着用せず、空調の過度な使用を控え、室温を28℃以上に設定することを何と呼ぶか？



A8

ビズ

Q9

「倫理的消費」とも呼ばれ、例えば「賞味期限の迫ったものから買う」、「食品ロスをなくすため買いすぎない」など、背景にある社会課題を意識しながら行う消費行動のことを何と呼ぶか。



飯田市エシカル消費啓発キャラクター「エシカッパ」

A9

消費

■A~Dの言葉を
つなぎ合わせると…

「 。（プレゼント応募ワード）

飯田市・南信州地域振興局・飯田信用金庫の3者で設立したプラットフォーム「うごくる。」では、多様な主体の「学び」と「対話」の場を設け、環境文化都市の実現に向けた具体的な「行動」を応援します。共に活動する仲間の募集もしていますので、お気軽にお声がけください！



問い合わせ／ゼロカーボンシティ推進課 内線5474

燃やすごみを減らそう!

～ごみを減らしておトクな暮らし～



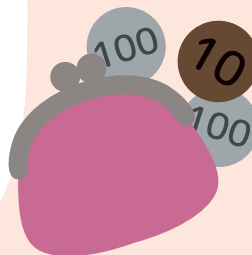
1 家計の負担を減らす!

分ける・減らす

飯田市では、「燃やすごみ」と「埋立ごみ」に1袋あたり60円（「燃やすごみ小」は30円）のごみ処理費用をご負担いただいています。これは、ごみ処理費用をすべて税金で賄うのではなく、ごみを多く出す方にはより多くのご負担をいただく、という考え方に基いた制度です。一方、資源ごみ（金属・紙・プラスチック・ペットボトル・ガラスびん）には、手数料負担はありませんので、ごみの減量・分別を徹底して燃やすごみを減らすことで、家計のご負担を減らすことができます。（具体策は後のページで）



稲葉クリーンセンターのごみ搬入のようす



ごみ袋代の値上がりにはごみを減らして対策を!



原油価格の上昇によるごみ袋代の上昇に対し、飯田市ではメーカーに補助金を出して価格の据置きをお願いしてきました。しかし、この補助も6月までで終わりますので、ごみ袋が1枚6円から9円程度値上がりすることが予想されます。ごみを減量し、ごみ袋の使用枚数を減らすことが、値上がり対策になります。



たとえば 燃やすごみ袋(大)を年間60枚使用しているご家庭は…
60袋×1枚9円の上昇 = 年間540円 の負担増ですが、



後ほど紹介する生ごみ処理機器の導入で、**3割燃やすごみを減らせば**、ごみ袋の使用も18枚減らせます。18枚減らすと、その分のごみ処理手数料も減るので、
18袋×1枚89円(手数料60円+袋代29円) = 年間1,602円の節約 となります。

※ごみ袋の代金は販売店が決めていますので、ここでは例として値上がり後のごみ袋代を29円として計算しています。

燃やすごみは、処理に費用がかかるため、市民のみなさんと飯田市の行政に多くの負担をかけているほか、焼却による二酸化炭素で、地球温暖化に影響を与えます。燃やすごみを減らすことは、市民の皆さんにとっても、飯田市にとっても、そして地球にとってもよりよい結果をもたらします。燃やすごみを減らして、3者おトクな暮らしを実現しましょう。

「生ごみ出しません袋」を配布します

分別の徹底と生ごみの削減を目的として、「生ごみ出しません袋」の限定生産・無償配布を行います。**「生ごみ」は燃やすごみ全体の約4割を占めています。**これを減らすと、燃やすごみのとても大きな削減になります。生ごみ処理機の使用開始などで生ごみを出さないよう取り組むことを宣言いただいた、先着1,000世帯（1世帯30枚）に差し上げます。※令和6年8月実施予定です。詳細は改めてお知らせします。（生ごみ減量の具体策も次ページで）



稲葉クリーンセンター

2 市の負担を減らす！

ごみ処理にかかるおカネ

飯田市がごみ焼却のために稲葉クリーンセンターに支払う負担金は、年間約3億2千万円。このうち約2,400万円は、当初の想定よりも増えてしまったごみを処理するために、上乘せして支払っています。ごみ減量によって、この負担を減らすことができ、その分は市民のみなさんのためのほかの施策に使うことができます。また、燃やした後の灰の処理費用も減らすことができます。



3 地球の負担を減らす！

温室効果ガスの排出

日本全体で排出される温室効果ガスのうち、廃棄物処理に係るものが占める割合は約3.3パーセント（令和元年度数値）。

焼却によるものが大半を占めるほか、その収集、運搬などからも温室効果ガスが発生しています。

割合は多くないようですが、温室効果ガスはできることから減らしていきましょう！





どうやってごみを減らそう？

1

生ごみをなくす！

生ごみ処理機器を使って、燃やすごみから生ごみをなくしましょう。

コンポストタイプ、バクテリア分解型、電気乾燥方式、と皆さんのライフスタイルに沿った方法を選んで、実行しましょう！燃やすごみから生ごみをなくすと、燃やすごみの保管のしかたが変わり、出す回数がグッと減って、生活そのものが大きく変わります。



生ごみ処理機
(乾燥させるなどして生ごみを生ごみでなくします。)



コンポスト
(堆肥としてリサイクル)

飯田市では、生ごみ処理機器の購入を補助しています

購入金額の2分の1(上限30,000円)を補助します。前回の補助を受けてから7年経っていれば、再び補助を受けることもできます。

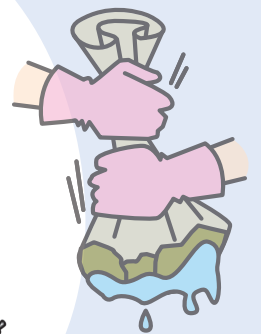
6年度から新たにリース費用も補助の対象に！

令和6年度から、リースによる生ごみ処理機器の使用も新たに補助の対象とします。リース費用の2分の1(上限30,000円)を補助します。

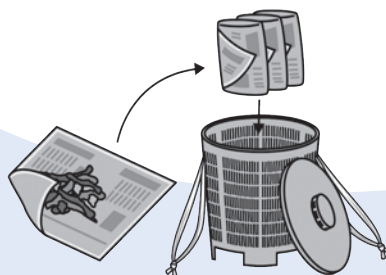
生ごみ処理機を試してみたい、という方には、無料のお試しレンタルも行っていますのでお問合せください。

2 生ごみを乾かす！

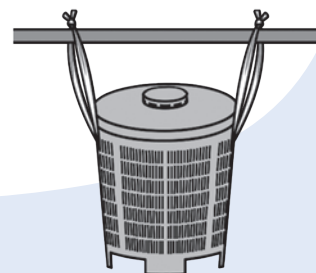
生ごみを堆肥にしたり、土に還元したりするばかりでなく、りんごの皮や、茶葉の出し殻、コーヒーの粉など、植物性の生ごみなら、単に乾燥させて水分を減らすだけで、ごみ減量効果は絶大です。絞るだけでも効果的！生ごみに占める水分の割合はなんと80パーセント！ごみを出す前の一工夫です。



環境上級者向けには、自然の風で乾燥させるこんな器具も。



生ごみを新聞紙に包んで入れる



物干し竿などに吊す

写真・イラスト提供：NPO法人生ごみリサイクル全国ネットワーク



3

紙類の こまめな分別！



台所で出る紙容器。

レトルトのパッケージや、お弁当の外箱、缶ビールの6本パックのケースなど、つつい燃やすごみに入れがちです。ぜひ、台所に紙専用のリサイクルボックスを置いて、こまめなりサイクルを！

なお、市の分別では、「その他の紙」となります。



4

プラスチックを 分ける！



令和5年4月から、「プラスチック製品」も「プラ資源」として回収しています。歯ブラシや筆記具など、これまで燃やすごみとしてきたプラスチックも、リサイクルの対象です。こまめな分別で、燃やすごみを減らしましょう！

ちなみに、**ごみを燃やすにはプラスチックが入っていた方がよく燃えるのでよい、という話を耳にするかもしれませんが違います。**稲葉クリーンセンターには、資源となるプラスチックを燃料代わりにあえて入れる必要はありません。

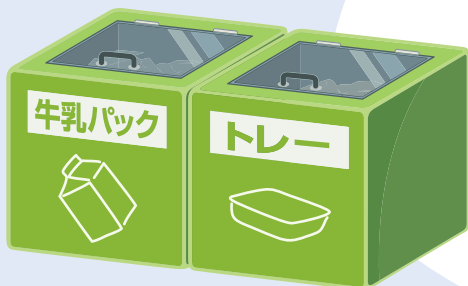
水分とごみそのものを減らし、プラスチックはリサイクルを心がけましょう。
※プラスチック製でも、家電製品の部品は「プラ資源」ではなく、「燃やすごみ」となります。

※長さが50センチメートルを超えるものも、燃やすごみです。



5

店頭回収を 利用する！



ダンボール、缶、ペットボトル、牛乳パックなどの資源物は販売店でも回収しています。

国連が示したSDG's (持続可能な開発目標)の、「12」は、「つくる責任 つかう責任」としてしています。飯田市内でも、店頭において

リサイクル対象品を回収する動きが広まっており、販売する事業者が自ら回収を行う取組みを、飯田市は推奨します。



美術博物館館長退館記念展開催 18年間の功績に感謝



退任した滝沢前館長(左)



新たに就任した蜂谷館長

平成18年から館長をお務めいただいた滝沢具幸さんが3月末で退任され、記念の展覧会を5月26日まで開催しています。退任式で滝沢さんは「飯田の豊かな自然や文化の発展に美術博物館が役割を果たすことができ良かった。」と振り返りました。4月から現代アートが専門の蜂谷充志さんが新館長に就任しています。

麻績の里桜まつり 文化財との共演



飯田女子高校邦楽クラブによる演奏

3月30日、31日に旧座光寺麻績学校校舎で桜まつりが開催され、琴の演奏や野点を楽しみました。座光寺の小学生が「桜ガイド」となり、麻績の里舞台桜について説明する姿もありました。

天龍峡花祭り 賑わう春の天龍峡



千代地区の園児たち

4月7日に開催し、ダンスの発表や飲食を楽しみました。5年ぶりに開催した稚児行列には千代、龍江、川路、三穂地区の保育園児が参加し、多くの人で賑わう天龍峡を歩きました。

市公式SNSでも市内の出来事やイベントなどを配信しています。
ぜひご覧ください。

QRを
スキャン



Instagram

ちとおせん 林道千遠線 62年越しの開通



あさぎり館(泰阜村)での開通式(3月23日)

昭和37年から整備を始めた、千代法全寺地区から泰阜村柘城地区を經由し、南信濃押出地区までをつなぐ総延長約27kmの林道が全線開通しました。今後、自然環境の保全や観光のために活用されます。

黒田人形公演 伝統芸能を受け継ぐ



高陵中学校黒田人形部による上演

約300年前から続く黒田人形の公演が国指定重要有形民俗文化財「下黒田の舞台」でありました。上演した中学生は「先輩が引退して最初の発表だったが、息を合わせて上手にできた。」と話していました。

新しい文化会館 基本構想がまとまる



「基本計画に期待するもの」を意見交換(3月28日)

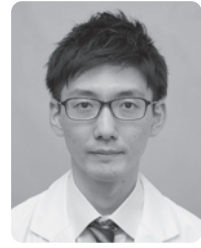
新文化会館検討委員会の皆さんの意見をもとに「新しい文化会館の整備に関する基本構想」を3月に策定しました。今後は「基本構想」をよりどころに「基本計画」を検討していきます。

令和6年能登半島地震 被災地支援活動報告



被災地支援のために派遣された市職員の報告会を、3月25日に文化会館で開催しました。災害に備えて家屋の倒壊防止措置をするなど、どのような準備が必要か再確認する機会となりました。

現代版 養生訓



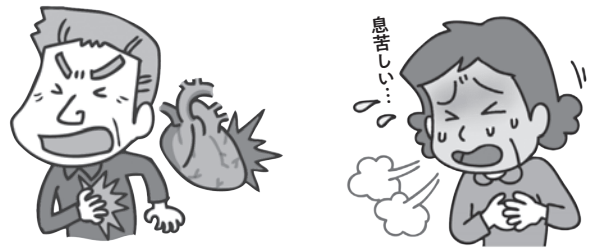
循環器内科
井上 航
医師

心不全について

「心不全」という疾患名を耳にすることが多いと思いますが、そもそも心不全とは何なのでしょう。心臓は、心臓内に血液を貯めて勢いよく全身に送り出す、全身の血液を循環させるポンプの機能を果たします。心不全はこのポンプ機能に何らかの障害が生じた状態を指し、十分な血液循環ができなくなることで様々な症状を呈します。全身臓器への血液供給が不良となり、尿量低下やだるさ・疲れやすさ、食欲低下などが出現します。また、心臓へ戻る血液がどんどん渋滞してしまうため、全身に過剰な水分がたまってしまい、むくみや体重増加を呈します。特に肺へ水分貯留してしまうと息切れや呼吸困難を生じます。進行すると仰向けになると苦しくなってしまう、夜間に寝られないといった症状も出現します。

心不全の原因として心筋梗塞や狭心症、弁膜症、不整脈などの心臓の病気が挙げられる一方で、高血圧症・糖尿病・肥満などのいわゆる生活習慣病も主要な原因となります。生活習慣病のみの段階では自

覚症状に現れにくく、気付いたころには病状が進行してしまっていることもしばしば見受けられます。心不全の難しい点は、一度心不全状態に陥ってしまうと完治することはない点にあります。決して元の様には戻らず、上手く心臓と付き合っていくこととなります。予防のために、努めて生活習慣を正すことが重要となります。特に日本人に特徴的な塩分が多い食生活は、心臓の負担を増加し、高血圧も引き起こし、動脈硬化を進行させます。塩分控えめの食事が心不全予防の第一歩です。気になる症状があれば、まずはお近くの医療機関にご相談ください。



飯田市立病院 〒395-8502 飯田市八幡町438 ☎0265(21)1255

Vol.38

上質なローカル

市長室から

市長 佐藤 健

3月末にJR東海がリニア中央新幹線の開業時期について「静岡工区の着工から少なくとも10年」と発表し、その翌週には静岡県川勝知事が6月議会をもって知事を辞任(※)すると表明しました。

2027年開業断念は、以前からいろいろな場面で示唆されていたので冷静に受け止めましたが、「10年先」というのは思っていたよりも長い時間で、うーんと唸ってしまいました。

まず思ったのが、2027年開業を前提に土地を提供された地権者の皆さんのこと。移転を余儀なくされた皆さんの心情を察するに余りあるものがあります。せめて飯田市が行う駅周辺整備事業については、開業を待

たずに一部先行して供用開始し賑わいをつくれるよう、計画を見直したいと思います。

リニア開業が10年以上先となることで、企業誘致や移住促進などへの影響は避けられませんが、それを嘆くというより、改めて、リニアに寄りかかり過ぎない地に足の着いたまちづくりを進めていかなければと思った次第です。

いたずらに都市的なものを追い求めるのではなく、飯田の自然風土、文化、先人の皆さんが築いてきた「暮らしの豊かさ」、この地域の「らしさ」を守りながら、リニアの利便性も兼ね備えたまちを目指す——『上質なローカル』を目指す——これまでも申し上げてきたまちづくりの視座を持って、一步一步前に進んでいきます。

※4月10日に退職届提出